

履修登録の有無にかかわらず、多くの学生、教職員の方の聴講を歓迎いたします

平成28年度 春学期・夏学期開講

科学技術政策特論

第6回講義

未来の産業創造・社会変革と科学技術

文部科学省科学技術・学術政策研究所長

川上 伸昭 氏

川上先生からのメッセージ

ユビキタスネットワークが提唱されて10年あまり。ようやくいつでも通信端末を手元に置く社会がやってきました。人工知能（AI）が囲碁のトッププロ棋士に勝利するなど、最近は、AI、IoT、ビッグデータが報道で取り上げられない日はないというほどの盛り上がりです。

こうした発展の下、政府は、第5期科学技術基本計画の中心に「超スマート社会」への対応を掲げ、強かに推進することとしました。AIなどの技術は、産業だけでなく大きく社会を変える力を持っています。講義ではこのような社会変革の可能性を中心にお話しします。

日時：

2016年5月24日

火曜日

5講目 16:30-18:00

場所：

工学研究院

オープンホール

[B-201]

川上伸昭先生

1981年北海道大学大学院工学研究科修士課程修了後科学技術庁に入る。約10年に亘る原子力安全規制行政経験を基盤に、省庁再編や研究機関改革など科学技術関係の組織・制度改革にしばしば関わった後に、2007年から文科省生涯学習政策局政策課長として第一期教育振興基本計画の策定を通して教育行政にも従事。その間、2000年版科学技術白書を執筆、2001年に文科省科学技術・学術審議会に人材委員会を設置して科学技術人材問題検討の基本的な方向性を作り、2004～5年度に北海道大学客員教授として北大改革を助言。2010年から科学技術振興機構理事として法人経営に参画。2014年から文部科学省・科学技術・学術政策局長として第5期科学技術基本計画を検討。2016年3月より現職。

担当：工学系教育研究センター 渡邊康正教授
内線：6908 Mail: ceed-int@eng.hokudai.ac.jp